2. 地域高規格道路

沖縄西海岸道路(連結機能)

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と那覇空港、那覇港といった 広域交通拠点を相互に連絡します。

■ 名護東道路(連結機能)

名護市街地から同市許田に至る延長約8kmの道路であり、高規格幹線道路である沖縄自動車道と、観光リゾート地、北部圏の中心都市である名護市を相互に連絡します。

一 南部東道路(連携機能)

南風原町から南城市に至る延長約12kmの道路であり、南部東地域と現在整備促進中の高規格幹線道路那覇空港自動車道を相互に連絡します。

■ 那覇インターアクセス道路(連結機能)

沖縄自動車道那覇ICから那覇新都心に至る道路であり、高規格幹線道路である沖縄自動車道と那覇新都心を連絡します。



ハシゴ道路の構築

沖縄県における「道路のアンバランスな使われ方」や「那覇都市圏の深刻な交通渋滞」、「東西分断により沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下」等の交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を推進します。

1. 現状と課題

○道路のアンバランスな使われ方

沖縄県を縦貫する幹線道路は、交通容量 を超過する交通を処理するのに対して、沖 縄自動車道は交通容量に余裕があります。

●那覇市~西原町の断面交通量



○深刻な交通渋滞

沖縄県の渋滞損失時間は那覇都市 圏に集中しています。道路による抜 本的な対策が必要です。



○米軍基地による地域分断

基地などによる地域分断から高速道路の

利便性が低下しています。新規ICの整備等

による高速道路の利用促進が重要です。

2.『ハシゴ道路』の整備計画



沖縄県道路整備プログラム

(詳細は沖縄県土木建築部道路街路課HP参照)

https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/dorogai/douroseibiprogram.html

沖縄県では「沖縄県道路整備プログラム」を2018年12月に策定。

本計画は「沖縄21世紀ビジョン基本計画」及び「沖縄県総合交通体系基本計画」を上位計画とした、沖縄県が取組むべき道路部門の短中期的かつ効果的に道路整備事業を実施するため、道路整備に関わる計画・施策をとりまとめた総合的な計画となっている。

1. 計画の概要

- ・本プログラムの計画期間は2018年度から2027年度までの10年間としており、道路整備の基本方針と対応する具体的な施策のほか、 事業効果や主な事業箇所リストについて記載。
- ・対象事業は、ネットワーク整備のみならず、交通安全対策、老朽化対策、市街地開発等、道路に関する全ての事業を網羅しており、 道路街路課、道路管理課及び都市計画・モノレール課の道路関係3課により策定した短中期の事業実施計画。

2. 道路整備の基本方針

沖縄県の最上位計画である「沖縄21世紀ビジョン」に掲げる将来像の実現に向け、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」や「沖縄県総合 交通体系基本計画」に定める施策分野を踏まえ、4方針を定め、各方針を実現するための具体的な施策展開について整理している。

- (1)方針1:観光をはじめとする様々な産業の振興を支える道路
 - 1)体系的な幹線道路網の整備
 - 2)観光客の受入体制の整備
- (2)方針2:災害に強く安全、安心な暮らしを支える道路
 - 1)交通事故を抑止するための基盤整備
 - 2)交通基盤の長寿命化
 - 3)災害に強い道路の整備
- (3)方針3:人及び環境に優しく、快適な暮らしを支える道路
 - 1)歩いて暮らせる環境整備
 - 2)集約型市街地の形成や地域特性に応じた道路整備
 - 3)人に優しい交通手段の確保に資する道路整備
 - 4)自然環境の保全に資する道路整備
- (4)方針4:離島地域の生活を支える道路
 - 1)離島地域内の道路網の整備
 - 2)災害に強い交通基盤の整備
 - 3)安全で快適な暮らしを支える道路の整備

3. 整備目標

本プログラムの事業効果を示す成果目標として、右記に 示す項目を設定している。

基準年は2017年度とし、目標年は計画期間である10年 後の2027年度としている。

4. 主な事業箇所一覧

本プログラムの計画期間は、2027年度までの10年間であるが、主な事業箇所一覧の対象期間は、2018年度から2022年度までの5年間としているため、今回の策定は前期計画となる。

当該一覧には、方針毎に事業名称、総事業費、今後 5年間の事業スケジュール等を示しており、対象は国 直轄、県及び市町村の主な事業で、直轄事業について は公表済みの情報を、県事業は総事業費5億円以上 のみ、市町村事業は総事業費1億円以上のみを記載 している。(対象事業については2020年3月更新)



方針	指標	基準年 2017年度)	目標年 2027年度)
1	観光をはじめとする様々な産業を支える道路		
	東西連絡道路の整備率	49%	60%
	主要溃滞箇所数	188 箇所	168 箇所
	高規格幹線道路の10分圏域人口	653 千人	658 千人
	空港 港湾の1時間圏域人口	927 千人	950 千人
2	災害に強く安全、安心な暮らしを支える道路		
	県管理道路の事故危険箇所対策率 ^{※1}	0 %	100 %
	県管理道路の橋梁補修 補強箇所数 本島)	-	250 橋
	県管理道路の災害防除対策箇所数	-	45 箇所
	無電柱化の整備延長 本島)	120.5 km	160.5 km
3	人及び環境に優しく、快適な暮らしを支える道路		
	地域拠点の30分圏域人口	902 千人	928 千人
	歩道の整備延長	-	15.0 km
	土地区画整理による宅地整備面積	2,039 ha	2,239 ha
	モノレールの1日当たり平均利用客数 ^{※2}	49,716 人/日	58,826 人/日
4	離島の暮らしを支える道路		
	県管理道路 離島)の改良率	90.6 %	93.5 %
	県管理道路の橋梁補修 (補強箇所数 離島)	-	100 橋
	県管理道路の災害防除対策箇所数 離島)	-	5 箇所
	無電柱化の整備延長 離島)	28.4 km	48.4 km

※1 国土交通省が指定する第4次及び次期社会資本整備重点計画における事故危険箇所を対象とする ※2 目標年における利用客数は、2017年度の利用客数に、2030年度における証長事業に伴う利用客数 の予測値を上乗せした数値である

。 表-1 整備目標

1 観光をはじめとする様々な産業の振興を支える道路						
1)体系	的な幹線に	直路網の整備				
中部		OO線 OO~OO)	L=2.9km 、W =28m	24,900		 2023年度 供用予定
		OO線	L=1.0km 、W=30m	4,206	->>>	2020年度 供用予定
	県	都)〇〇線	L=0.7km 、W=34.0m	6,000		 2020年代後半 供用予定
		〇〇線 仮称)		-		事業化検討

表-2 主な事業箇所一覧(イメージ)

道路は県民生活の向上と地域経済の健全 な発展に必要な公共施設です。このため、 県財政のきびしい状況の中で、選択と集中 により、効率的かつ効果的な道路整備につ とめています。



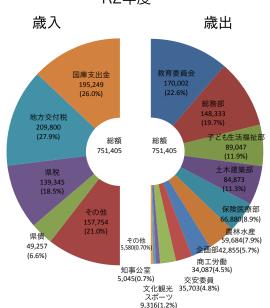
ワルミ大橋 (屋我地仲宗根線)

■令和2年度予算規模(一般会計)

●県予算(年度当初)単位:百万円

予 算 県

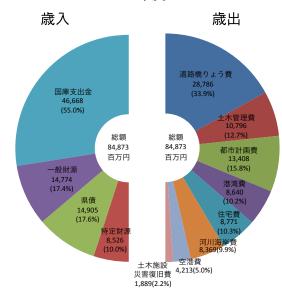
R2年度



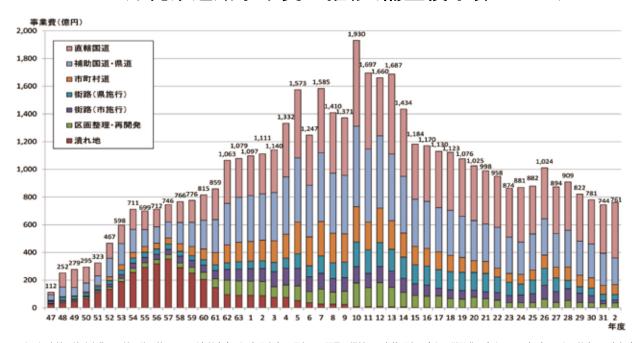
●土木建築部予算(年度当初)単位:百万円

土木建築部予算

R2年度



沖縄県道路事業費の推移(補正後予算ベース)



注1) 直轄、補助事業は、補正後予算ベース(交付金含み)交通安全・調査・再開発・機械は、各管理者に含む。単独費は含まない。各グラフ上の数字は、各年度の合計である。

注2) 但UR2については当初予算

1. 一般国道(指定区間)

国 (内閣府沖縄総合事務局) が管理する国道は、現在6路線 (58 号、329号、331号の一部、332号、506号、330号の一部) 実 延長 326.9 km (令和2年4月1日現在)で沖縄本島の主要な幹 線道路を形成しています。

現在、増大する交通需要に対応するためバイパス等の整備を強力 に推進しています。

■主な事業箇所

- エルタネロバ				
路線名	事業内容			
国道58号	名護東道路、恩納バイパス、恩納南バイバス、読谷道路 嘉手納バイパス、北谷拡幅、浦添北道路II期線 浦添拡幅、那覇北道路			
国道329号	国道329号 金武バイパス、与那原バイパス、南風原バイパス			
国道506号	豊見城東道路、小禄道路			



国道 58 号 浦添北道路



58 名護東道路



道路規格	1種3級
区間	名護市伊差川~数久田
延 長	6,800m
設計速度	80km/h
車 線 数	暫定2車線(完成4車線)

※名護市数久田~同市許田間(約1.6km)は調査中





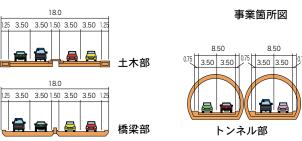
小禄道路(那覇空港自動車道)

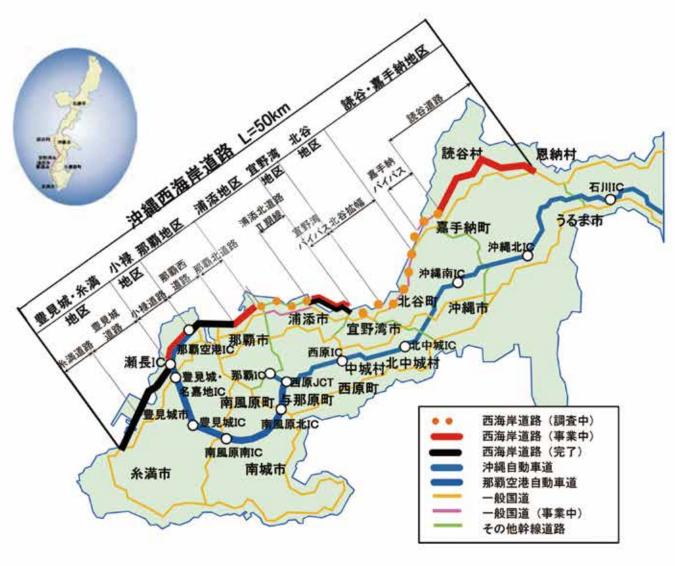


完成イメージ図

道路規格	1種3級
区間	那覇市鏡水~豊見城市名嘉地
延 長	5,700m
設計速度	80km/h
車 線 数	4車線







那覇北道路(沖縄西海岸道路)



			26.5	1.1			## (C) : m
.25	5 3.	5 3.5	3.0	3.5	3.5	3.5	1.25
讀	1 1	1	中央	#	10	#	語
	ís	1 0		8	6		_1

道路規格	1種3級
区間	那覇市港町~那覇市若狭
延 長	2,200m
設計速度	80km/h
車線数	6車線



2. 一般国道(指定区間外)

県が管理する国道は、6路線(330号の一部、331号の一部、 390号、449号、505号、507号) 実延長173.1km (平成 30年4月1日現在)で沖縄本島、宮古島及び石垣島におけ る主要な幹線道路を形成しています。

現在、交通渋滞の緩和、交通環境の改善のためバイパス、 現道拡幅等を行っています。

■主な事業箇所

路線名	事業内容			
国道331号	塩屋工区			
国道505号	呉我工区			
国道449号	本部北道路			
国道507号	八重瀬道路			



国道330号(那覇市)

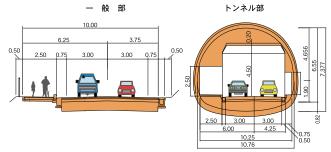


塩屋工区



(完成	予想図)

道路規格	3種3級
区間	大宜味村塩屋
延 長	760m
設計速度	50km/h
車線数	2車線

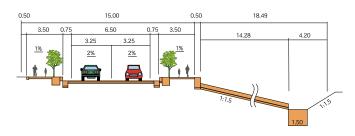




呉我工区



道路規格	3種2級
区間	名護市呉我
延 長	1,300m
設計速度	50km/h
車線数	2車線

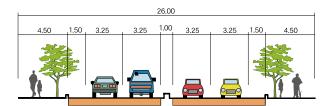


(完成予想図)



∰ 本部北道路 ■

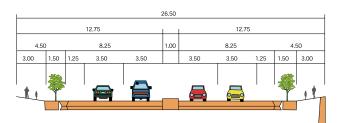
道路規格	4種1級
区間	本部町渡久地~大浜
延 長	1,600m
設計速度	60km/h
車線数	4車線





∭ 八重瀬道路■

道路規格	3種1級
区間	八重瀬町字東風平~字具志頭
延 長	4,200m
設計速度	60km/h
車 線 数	4車線





(完成予想図)